



# 2017 春季生活闘争ニュース

2017. 4. 28 第7号 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 地場・中小労組支援へ

# 「解決促進集会」を開催！

春の大型連休を間近に控え、道内の地場・中小の労働組合のほとんどはこれからが春季生活闘争の本番、交渉促進、妥結に向けて山場を迎える。頑張っている中小労組を支援しようと、石狩と渡島で地場未解決組合解決促進集会が開催された。



連合石狩地協の集会は、「未来につなぎ そして生きるための地域総合生活改善闘争」を掲げて4月27日、札幌エルプラザで開催され200名を超える組合員が参加した。地場産別闘争報告では、札幌地区ユニオン山光運輸労組の長谷川委員長が、従業員3名から組合を立ち上げて会社と交渉を重ねた結果、未払だった時間外賃金等の支給を勝ち取った経過などを報告し、組合の必要性や重要性を改めて参加者に呼びかけていた。また、全ベルコ労組の高橋委員長が闘争への支援のお礼と状況報告を行い、なかでも会社と団交や訴訟、労働委員会への申立などには労働法の知識を学ぶことが重要であり武器となると訴え、書記長がワークルール検定の中級に合格したことも披露された。参加者へも検定受検を呼びかけていた。最後に団結ガンハローで集会を終えた。



渡島では地区連合主催の函館地区地場・中小労働組合解決促進集会が4月24日、函館国際ホテルに組合員160名が参加して開催された。荒木会長は挨拶で、「圧倒的に多い地場中小企業が元気になることによる労働者への還元が地域経済の発展につながる。底上げ・底支え春闘の正念場はこれから。支援体制を含め粘り強く頑張ろうと訴えた。全自交など

挨拶する荒木会長 産業別代表3人から、期待した回答が得られていない厳しい状況だが諦めず闘い抜くという強い決意が述べられた。



## 商工会議所中小企業対策委員会へ要請（胆振）

胆振地協は4月11日、室蘭商工会議所中小企業対策委員会へ要請行動を行うとともに意見交換を行った。また、4月12日には苫小牧商工会議所に対しても同様の要請を行った。（右は日西会長ほか地協役員）

